

令和5年12月6日



担当課：商工部 新産業振興課
内線：3776
直通：092-643-3445
担当：藤吉、大橋

衛星分野の宇宙ベンチャーで全国初！

九州大学発宇宙ベンチャーの(株)QPS 研究所が 東京証券取引所グロース市場に上場しました！

～12月11日(月)、(株)QPS 研究所が服部知事と香原県議会議長に報告します～

- 本日、九州大学発宇宙ベンチャーの(株)QPS研究所が、東京証券取引所グロース市場に上場しました。衛星分野の宇宙ベンチャーとしては、全国初となる快挙です。
- 12月11日(月)に、(株)QPS研究所が来庁し、服部知事と香原議長に上場を報告します。当日は、今年6月に打ち上げた、小型 SAR 衛星 6 号機「アマテル-Ⅲ」から取得した世界トップレベルの高精細な SAR 画像の紹介なども行われます。
- 4年前の12月11日は、QPS-SAR 初号機「イザナギ」の打上げが成功した記念すべき日です。その際の打上げパブリックビューイングで司会を務めたタレント中島浩二氏が、今回も進行を務め、過去の打上げやこれまでの(株)QPS研究所の歩みを皆さんと一緒に振り返ります。
- (株)QPS研究所は、小型 SAR^{※1} 衛星開発の分野で世界をリードする九州大学発の宇宙ベンチャー企業であり、2025 年以降を目標に、小型 SAR 衛星 36 機による衛星コンステレーション^{※2}構築を通じて、世界中のほぼどこでも任意の場所を約 10 分間隔で観測する「準リアルタイムデータ提供」の実現を目指しています。

※1 SAR (合成開口レーダー) : 電波を使用して地表の画像を得るレーダー。

雲や噴煙を透過し、昼夜を問わず観測することができる点が特長。

※2 衛星コンステレーション : 多数の小型の人工衛星を連携させ、一体的に運用する仕組み。

1 知事、議長への上場報告について

- ・ 日 時 : 令和5年12月11日(月) 16時00分～16時30分
- ・ 場 所 : 特別会議室 (県庁行政棟8階)
- ・ 訪問者 : (株)QPS 研究所 代表取締役社長 CEO 大西 俊輔 (おおにし しゅんすけ) 氏
代表取締役副社長 COO 市来 敏光 (いちき としみつ) 氏
ファウンダー 八坂 哲雄 (やさか てつお) 氏
- ・ 対応者 : 福岡県知事 服部 誠太郎
福岡県議会議長 香原 勝司
- ・ 司 会 : タレント 中島 浩二 (なかじま こうじ) 氏
- ・ 内 容 : ①訪問者紹介
②大西社長からの上場報告及びこれまでの総括と今後の展望
③お祝いの言葉(服部知事、香原県議会議長)
④懇談
⑤記念撮影
※終了後、特別会議室で(株)QPS研究所が取材に応じます。

2. (株)QPS 研究所について

・所在地

福岡県福岡市中央区天神 1 丁目 15-35

・代表者

代表取締役社長 CEO 大西 俊輔

・事業

カメラで撮影できない環境（曇りや夜）でも観測可能な小型レーダー衛星（小型 SAR 衛星）を開発し、世界のほぼどこでも準リアルタイムで観測できる体制の確立を目指す。最終的には 36 機の衛星を打ち上げ、衛星コンステレーションの構築を目指す。今年 7 月、小型 SAR 衛星 6 号機「アマテルⅢ」が日本最高分解能 46cm の画像取得に成功。



3 上場の概要

- ・上場日：令和 5 年 1 2 月 6 日（上場承認日：令和 5 年 1 0 月 3 1 日）
- ・市場区分：東京証券取引所グロース市場
- ・(株)QPS 研究所は、今回の上場での調達資金について、衛星コンステレーションシステムの構築や、追加の衛星製造、衛星打ち上げに係る費用などに充当する方針。

4 QPS-SAR プロジェクトの県内参画企業

- ・(株)Fusic（福岡市、システム開発）
- ・一木エンジニアリング（宗像市、機械設計）
- ・峰勝鋼機株（糸島市、スプリング製造）
- ・オガワ機工株（久留米市、装置製作）
- ・アイアント工業（久留米市、旋盤加工）
- ・(株)睦美化成（久留米市、フッ素樹脂コーティング）
- ・(株)石井熱錬（筑後市、金属熱処理）
- ・(有)松原産業（八女市、機械加工）
- ・(有)テック ACS（三潁郡大木町、機械加工）
- ・(株)昭和電気研究所（福岡市、電気設備）
- ・(株)マイクロラボ（宗像市、通信系）
- ・(株)村井工機（糟屋郡粕屋町、機械加工）
- ・(有)津留崎製作所（久留米市、歯車加工）
- ・マルナカゴム工業（久留米市、ゴム製品制作）
- ・(有)フラターテック（久留米市、機械加工）
- ・(株)ウメダ（筑後市、装置製作）
- ・(有)カネクラ加工（大川市、縫製加工）

【参考：県の QPS 研究所に対する支援】

○「先導的 Ruby ソフトウェア開発支援事業補助金」による支援（平成 26 年度）

- ・Ruby や mruby（軽量 Ruby）を活用して新分野展開等を目指す福岡県内企業のソフトウェア開発に対して交付する補助金
 - ・軽量 Ruby を活用して、人工衛星本体に組み込まれる、衛星の姿勢制御やデータ取得などの管理システムを開発
- ※本県発のプログラミング言語「mruby（軽量 Ruby）」は、開発効率が高く、トライアル & エラーしやすい特徴があり、複雑なシステム開発の期間短縮に貢献
- ※当該システムで、平成 30 年度フクオカ Ruby 大賞を獲得

○衛星打ち上げの際のパブリックビューイングの開催

- ・初号機「イザナギ」では、県庁 1 階ロビーで関係者及び県民約 500 名が参加。
（令和元年 1 2 月 1 1 日）
- ・2 号機「イザナミ」では、オンラインで約 800 名がリアルタイム視聴。
（令和 3 年 1 月 2 4 日）

- ・ 3、4号機「アマテルⅠ、Ⅱ」では、福岡銀行本店広場で関係者及び県民約 300 名が参加。
(令和4年10月12日) ※ロケット打上げは失敗
- ・ 6号機「アマテルⅢ」では、オンラインで約 300 名がリアルタイム視聴。
(令和5年6月13日)

○岸田総理への地方の宇宙ビジネスの支援に関する特別要望

- ・ 令和3年11月、全国11道県の知事の連名で、岸田総理に対し、地方の宇宙ビジネスに対する支援について、特別要望を実施。
- ・ 本県からは、衛星コンステレーション構築に対する財政支援、衛星データの政府調達や利活用のための支援を服部知事が直接要望。